実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	奈良県王寺町
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業 総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業
事業名	総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト
助成金額	2,386,000 円

令和７年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、自立支援事業・クラブマネジャー設置支援事業を行っている奈良県王寺町及びその間接助成団体である総合型地域スポーツクラブ「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト（以下、「クラブ」という。）」の実施状況について Web 調査を行いました。

クラブでは、コロナ禍や競合するクラブチームの増加等の影響により、一時期よりクラブの会員数が減少してしまったとのことですが、調査時点での会員数は 785 名で、幼児から小学生、高齢者に至るまで幅広い年齢層の方々が参加していると伺いました。そうした多数の会員数の背景には、クラブが 14 種目・53 スクールもの多様な活動を積極的に展開していることが理由として挙げられていました。

また、王寺町の施策で総合型クラブが無料で公共施設を利用できる体制が整っており、その利点を活かしてクラブの活動は主に町内の体育施設や学校施設で行っているそうです。

■助成の意義

クラブマネジャー設置支援事業の助成を受けたことでクラブマネジャーを継続的に配置でき、運営の安定化につながっているとのことです。また、自立支援事業の助成により、町の広報誌への掲載費用や指導者謝金等に活用することで、会費を低価格に抑え、多様なニーズに合わせた多種目のスクールを実施することができ、誰もが参加しやすい環境整備が進んだとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

クラブでは、町広報誌への情報掲載やダンス系教室等発表会の開催、王寺町スポーツ協会との講師連携などにより、新規会員の獲得や指導者の確保に向けた取組を行っているそうです。また、今後は若年層の会員獲得に向けて SNS（Facebook、Instagram）での情報発信も検討しているとのことです。さらに、クラブのホームページ上で財務諸表を公開するなど、団体運営における透明性の確保にも努めていると伺いました。

■その他

奈良県では令和８年４月から中学校において休日における教員の指導による学校部活動を廃止する方針があり、今後クラブでは休日の部活動の受け皿としての事業を展開し、将来的には中学生を対象とした活動を強化したいとのことです。町では、町内の学校にある約 20 競技種目の部活動の受け皿について、教育委員会やクラブと連携しながら、一つの学校に特定の部活動の活動場所を集約し、そこにクラブの指導者を派遣するなどといった体制を検討しているそうです。一方で、クラブは赤字運営に陥りやすいという資金面の課題を抱えており、新たな財源確保が必要と考えているそうです。 そのため、クラブとして法人化も視野に自立に向けた準備を進めるとともに、町としても助成終了後のクラブの経済的困難に備え、新たな補助を検討していると伺いました。

■所感

今回の Web 調査を通じて、クラブは幅広い年齢層に対応し、地域に根付いている印象を受けました。また、くじ助成によりクラブ運営の基盤が強化され、地域スポーツ振興に大きく寄与していると感じました。一方で、財源確保や自立化は今後の重要課題であり、法人化や部活動地域展開への対応が鍵になると考えられます。

今後も王寺町や教育委員会、スポーツ協会との連携を強化し、クラブの運営が継続的にできることを期待しております。

（令和 7 年 12 月 11 日 Web 会議形式）

（写真）ZUMBA 教室(左)、Kids フットサル教室(右)の様子（※写真提供：奈良県王寺町)



